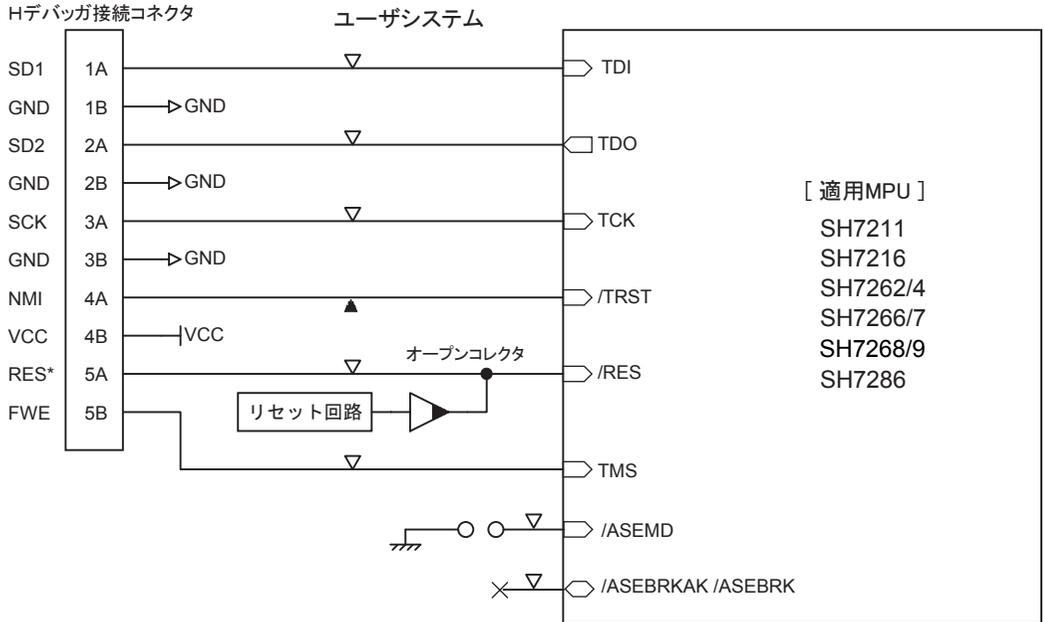


【接続例27】 SH7211,7216,7262/4,7266/7,7268/9,7286の場合 (H-UDI接続)



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です、抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- 2) ▲印はプルダウン抵抗です、抵抗値は1.0Kを推奨します。
- 3) リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になるハードを設計して下さい。
- 4) デバッグ時には /ASEMD (LOW) にして下さい。
- 5) /RES信号はH-debuggerから制御していますので入力になります。(注意 E10A-USBと相違)
- 6) /RES信号はCPU設定で、使用 / 不使用の選択が出来ます。
- 7) /ASEBRKAK /ASEBRKは、抵抗プルアップ処理をし開放にして下さい。